

平成26年11月7日 金

昨日の夕方のことですが、電車内でのマナーが悪いということで、外部の方から苦情の電話をいただきました。普通一般の方が少々のごことで清風に電話することはなく、わざわざ電話されたほどですから相当乗車マナーが悪かったのだと想像できます。公共の場所ではしっかりマナーを守ることに努力して行動して欲しい。

チベット僧ロサン・ガンワン先生は、私の人生における師匠として20年間お付き合いいただきましたが、癌でお亡くなりになりました。ガンワン先生が癌に冒されたとわかって以来、先生をチベットから私の自宅にお招きし、日本で様々な治療を受けていただきました。約2年間、ありとあらゆる治療を受けていただきました。病院だけではなく、治療効果があるといわれることなら何でも試そうと、全国の病院や治療所にお連れしました。

ある時、治療を受けて帰る車の中でガンワン先生は私に、「癌は様々な悪い条件が幾重にも重なり合って起こっている。そして、癌もまたその本質は、“空”である」といわれた。

“空”とは、何も無いということではなく、様々な因果関係に関係なく存在しているのではない、という意味である。もし、物事が因果関係に関係なく存在していたら、外からの影響を受けないのであるから、良性である細胞が悪性に変化することは無く、癌も発症しない。癌は、良性な細胞から悪性の細胞に変化するのであるから、外からの様々な悪い因果関係によって発生している、とおっしゃった。癌もまたその本質は“空”であり、様々な悪い因果関係の結果として癌という病が起こっていると理解する。だから、逆に様々な良い因果関係を積み重ねていけば、癌の状況も変化するはずだ、と。

ガンワン先生から頂いた話は、単なる癌という病の理解だけに留まらず、人生全般に関わる教訓であると、私は感じました。人生において、悪い状況で苦しんでいる時は、様々な悪い因果関係が重なってそのような状況になっている。それが、人生が“空”なのだということ。だから逆に、これから良い因果関係を積み上げていくことによって、その悪い状況を変化させることができるはずで、必ず良い人生を送ることが出来るのだと、教えていただきました。この教えは、現在まで私の人生の教訓として生きつづけています。

学校生活の中で諸君は、成績や友人、クラブなどで、あるいは家庭での生活では、お父さんやお母さん、兄弟などの関係の中で、現在悪い状況に陥っている生徒がいるかもしれません。悪い状況に陥っている時に、ムシヤクシヤしてさらに悪い行いや言動をすることで悪い因果関係を積み重ねると、ますます状況は悪くなってしまいます。悪い状況というのは、悪い因果関係が重なりあって起こっているのだから、それとは逆に、良い因果関係を重ねる

努力をすることで、状況は良い方向へ変化させることができます。

現在諸君の中に、悪い状況に陥っている人がいたら、その状況は様々に悪い要因(原因)が重なって起こっているのだから、その原因を追求してもなかなか分からないものです。原因が分からないからといって、短気を起こしてみたり、諦めてなげやりになってみたり、人に責任を転嫁してみたりなど、さらに悪い要因を繰り返してしまうのではなく、逆に良い言葉をかける、この悪い状況こそが、自分を成長させる絶好のチャンスと考え、人に優しく接するよう心がけたり、気持ちに余裕をもつようにしたりするなど、良い因果関係を積み重ねる努力をしてもらいたいのです。必ずや悪い状況は変化するはずです。

清風学園は「福の神のコース」を大切にします。自分のためになることが、そのまま人のためにもなるようによく考えて行動する。また、自分を高めていくことで、多くの方々のお役にたつ努力を惜しまない。21世紀はこのような生き方をする人が求められている世紀なのです。

日々の生活では、様々な不本意な出来事が起こりますが、だからこそ、良い行動や言動を積み重ねて良い状況になるように変化させていてもらいたい。

乗車マナーや友人への良い言葉がけ、人に親切に対応するなど心掛けて学校生活を送って欲しいと願っています。

学校長